



巻頭記事 年頭にあたり (医療法人八重瀬会 理事長 山内英樹)

特集記事 第34回 八重瀬会忘年会

医局便り 骨について (同仁病院 院長代理・整形外科部長 山内裕樹)

LEADER'S VOICE 看護管理部 看護部長 喜屋武 隆

2019  
1月

## 広報 vol.241

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会  
**同仁病院**

創立100周年 これからも地域と共に



### 年頭にあたり

医療法人八重瀬会 理事長 **山内英樹**

2019年 平成31年を迎えました、明けましておめでとうございます。まずは、年末年始、業務に当たられた皆さん、本当にご苦労様でした。今年は、心地良い陽気で新年を迎える事が出来ました。皆さんの年末年始はどうでしたか。平成最後の正月、5月からは新元号となります。新時代到来でしょうか。

いつものように、昨年、平成30年度を簡単に振り返ってみましょう。米・トランプ旋風は相変わらずで、初の米朝会談が開催されたと思えば、対中報復関税経済摩擦、米政府一部閉鎖と続いています。韓国は専ら北向きで南北朝鮮会談は数回行われた一方、対日は強硬、徴用工問題、慰安婦問題、更には自衛隊哨戒機へのレーダー照射、何とも。自然災害・台風が多い年でもありました。特に台風7号は迷走、西日本に大きな被害を。安倍首相三選、スポーツ界ではパワハラ問題が続出、日産・ゴーン元会長逮捕は驚愕でした。嬉しいニュースは本庶佑教授のノーベル賞受賞。沖縄では、玉城新知事誕生、辺野古土砂搬入。安室奈美恵引退、西海岸道路開通は大きな話題に。日本政府と県政の対立は相変わらずで気になります。新語流行語はカーリング活躍から「そだね〜」、漢字は「災」となりました、まさに世相反映ですね。

(医)八重瀬会、同仁病院です。ATM外来設置、山内裕樹Dr中心の宮古島講演、診療・介護報酬同時改定、DPC導入、アロマ開始、ドクターズクラーク、コンシェルジュのユニフォーム新調、MHA、トータルアドバイザー(安部氏)導入、ふれあい祭りではドローン使用の人文字作成、フィリピン留学生受け入れ開始等いろいろな事がありました。特に、11月に行われた「同仁病院創立100周年 記念式典・祝賀会」、大変なイベントでしたがスタッフみんなの頑張り、好評裡に終える事が出来ました。私にとっての漢字は「激」、本当に平成29年から30年にかけては巨大大業着手、新たな制度導入、種々院内外問題、そして100周年記念と激しく厳しい変化、とは言え充実感も感じる事が出来た時でもありました。が、今年もその大きな変化、厳しい状況は続きます。やえせAG、施設内容が最終決定され完成が間近になりました、南新館工事が着工されます、患者さんや多くの方々へ迷惑をお掛けする事がとても心配でしっかりした対策が必須です。入退院支援強化に加え、DPCの確認、見直しが必要です。消費税アップ、5月10連休、働き方改革の行方が気になります。地域包括ケアシステム、地域医療構想等、周辺状況と併せ、しっかりした対策を考えねばなりません。

やはり干支に触れておきましょう。今年は亥年、北西やや北寄りの方向で22時前後を現わす様です。そして「亥」は今の状態を維持する守りに徹した方が良く、と言われていています。イメージする猪突猛進とはちょっと違う気がしますが・・・どうでしょう？今年もやはりみんなと力を合わせ、前進、充実、さらに飛躍の年にしたいですね、しましょう！！

日時 平成30年12月25日（火）19:00～  
 場所 ザ・ナハテラス【アダン】  
 参加者 正職員，派遣職員，委託職員（合計 227名）



■皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中はお世話になり心から感謝申し上げます。

さて、光陰矢のごとし。まさに年を明けるとしみじみと感じる言葉です。あっという間の一年間でした。昨年の締めは毎年恒例の八重瀬会忘年会です。昨年は特にイベントの多い年で忘年会の直前にも同仁病院創立100周年という大きなイベントの後でした。



そういったこともあり昨年の忘年会はゲストの招待なしに久々の職員中心の会を催すことができました。やはり例年にはない開放的な忘年会ができたこと、たまには職員中心もいいと感じた忘年会でした。職員の皆様ご苦労様でした。

今年もよろしくお願い致します。

【管理局 局長 照屋一夫】



■平成15年に同仁病院へ入社し、今16年目を迎えています。  
 山内理事長には会う度に「大きくなったな…」と言われてしまいますが、たしかに…。

入社時は23歳。若くて、可愛いらしかった！！病棟スタッフから主任、師長へと周囲の助けに感謝をしながら病棟管理を行い、日々時間に追われる毎日の楽しみはやっぱり、食べること…そりゃ～大きくなりますよね！？

体に負けない心の成長は、皆さんの受ける印象にあると思います。  
 「私で良かった」と言ってもらえる人になるよう、自己研鑽を続けていきます。

【A病棟 看護師長 当真美香】



# 4回 瀬会 忘年会

余興コンテスト  
受賞チーム

理事長賞：A病棟  
期待賞：リハビリテーション科  
頑張った賞：とどろきの里

第34回  
医療法人八重瀬会 忘年会



■「A病棟の出し物考えて」とボソッと悪魔のつぶやきから僕の忘年会の参加が決まりました。右も左も分からない私が病棟でメンバー集めをしました。A病棟で参加できる方は2人しかいませんでした。絶望的な状態から必死の思いで先生方、連携室の方々に協力を依頼しました。なんとかメンバーが集まり余興内容が決まると、合言葉は「やるからには結果を残そう！」という決意で練習に練習を重ねました。本番ではみんなに楽しんで頂けたので結果が残せたと思います。あの時協力して頂いた方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。ホントにありがとうございました。これをキッカケに今後も周りの方々への感謝の気持ち忘れずに生きていきたいと思いましたとき。

【A病棟 看護師 大城盛太】



～忘年会徒然～  
同仁病院100周年の節目の忘年会  
不肖赤嶺は考えた  
盛り上げなければ  
100周年に因んでワインコーナーの予算  
100万も提案したが当然のごとく却下された  
これは仕方がない  
とりあえずワインコーナーについては  
例年のごとく  
安くて美味しいワインとお酒を  
もてる知識だけでは足りないの  
その節の方々にも知恵を借りながら用意した  
ワインコーナーではあるが日本酒有リウィス  
キー有リ 年に一度の同仁病院Barを無事開店  
次から次に来店されるお客様に楽しんでいた  
だけたのではないかと自負している  
しかし、100周年だ  
これでは足りぬ  
秘密裏に秘密裏に  
ショータイムの準備を始める  
衣装を貸して貰う相談  
音源の作成  
お歌の練習  
代休を使ってのリハーサル  
それら全て周りにバレては面白くない  
秘密裏に秘密裏に  
赤嶺は動いた  
そして当日  
幕は開いた  
何とか声は出ている  
歌詞が一部飛ぶというハプニングはあったが  
サングラスを取った時の歓声で成功を確信  
その後はご覧になられた通りである  
残念ながら  
もてる精神力を使い切ってしまったため  
その後赤嶺は灰になってしまったが



【内科 医師 赤嶺良光】

世界的な製薬会社である日本イーライリリー株式会社主催による骨密度についてのWeb講演会が12月18日に行われました。演者は当院の院長代理・整形外科部長である山内裕樹先生による演題『地方中規模病院の骨粗鬆症治療に対する役割ー骨粗鬆治療における他職種連携の必要性ー』となっており、参加者は看護師、薬剤師を中心に熱心に受講されていました。



■先日、山内裕樹先生の骨粗しょう症の講義を受講しました。あまり専門的に学んだことがなかったのでとても新鮮で興味深い内容でした。骨粗しょう症により骨が折れやすくなり、その骨折が原因で介護が必要になってしまう人も少なくありません。骨粗しょう症は痛み等の自覚症状がないことが多いのです。日本は世界に比べると長寿国ではありますが、平均寿命に比べると健康寿命は男性で9年、女性で12年と差があるといえます。健康で自立した生活を送れる期間を延ばすことを目標に、日常からの骨粗しょう症予防にそれぞれが取り組んでいく必要があります。この講義を受けて、今後は骨粗しょう症の治療継続が困難となった患者さんのきっかけや背景を知り、その患者さんがどうやったら治療を続けていけるのか、私たち医療従事者が正しい知識を身につけて情報提供していく必要があると感じました。

【外来 看護師 榎本綾子】

# ケーススタディ発表会を開催



当院のプリセプター委員会主催による『平成30年度ケーススタディ（事例研究）発表会』が、12月18日に行われました。プリセプター（教育担当）と共に日々の業務にあたり、その中で気づいたこと・学んだことを新人看護師6名が発表しました。

■今回ケーススタディーの作成・発表に関わり、普段行っている看護ケアについて改めて考える良い機会になりました。自宅での酸素投与について不安がある患者さんに対し、いかに軽減できるかを考え、退院後の患者さんの生活を見据えた看護介入を行うことができました。また、リハビリテーション科やMSWなど他職種との連携を学び、患者さんは今どのようなことができ何ができなのか、私達看護師にできる介入が何かを知ることができたと思います。今後も今回の学びを振り返りながら、患者さんの思いを大切にしたい関わりをしていけるように頑張りたいです。

【A病棟 看護師（プリセプター） 石田美乃】

■ケーススタディーでは、患者さんがどのような援助を必要としているのか。また、その状態に合わせた看護は何かを考えることに難しさを感じました。私の視点だけではなく、師長やプリセプターの指導により、様々な方向性からアドバイスを頂くことで、個々に合わせた看護過程の重要性が理解できました。リハビリテーションにも一緒に参加をして、他職種との情報共有・連携をとる大切さを学びました。今回の経験を今後の看護に活かし、患者さんへより良い看護を提供できるように努めていきたいと思ひます。

【A病棟 看護師 富盛愛梨】

# 母校のアカデミア講演会に登壇

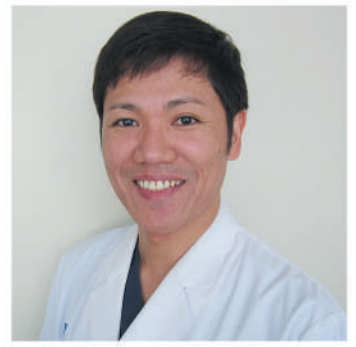
12月14日福岡大学附属大濠中学校・高等学校（福岡県福岡市）の第5回アカデミア講演会において、同高校の卒業生である当院の内科部長・内視鏡センター長 山城惟欣 先生が登壇し、医学部志望の現役中高生約70名と保護者に向けて『医師として生きるとは。医学部受験、その先のムコウ』というタイトルで、約1時間30分講演されました。参加された全員が目を輝かせながら真剣な面もちで終始受講され、講演終了後には、熱心な女子高生の質問攻めに遭い、山城先生がタジタジとなる場面もありました。



※写真提供：福岡大学附属大濠高等学校同窓会 広報IT委員会



## 『骨について』



同仁病院 院長代理  
整形外科 部長 山内裕樹

皆様、あけましておめでとうございます。2019年に入り、平成最後のお正月から年始が終わりました。GWには新天皇、新元号が始まります。これから徐々に寒さも和らいでいき、いよいよ新時代へ向けたカウントダウンが始まり、皆様もより一層飛躍される一年になることと思います。

さて今回は整形外科で良く扱っている「骨」について考えてみたいと思います。

整形外科は骨や筋肉、末梢神経などを主に扱う診療科になります。さて骨を扱う、というと皆様どのような治療を思い浮かべるでしょうか。骨折に対してシーネやギプスを巻いたり、大工さんのようにドリルやトンカチを持って、金属の棒や板で骨折をつないだり、といったイメージが主だろうと思います。それらは間違いなく整形外科医のお仕事で、もちろん大事な我々の役割の一つです。他にも、関節が傷んでダメになってしまった方への人工関節置換手術、背骨が曲がってしまったり背骨の中の神経にさわようになってしまった方への脊椎手術、またスポーツ障害の内視鏡手術、末梢神経損傷や血管損傷、腱断裂などに対する縫合手術、骨や筋肉にできた腫瘍手術なども整形外科の担当になります。案外整形外科分野は広い事がお分かり頂けるかと思います。

しかし実はそれだけではありません。そもそも骨の体内における働きってどのようなものがあるかご存知でしょうか。

皆様が骨について思い浮かべるのは、硬くて体や四肢の支柱のようなもの、という事だと思います。もちろんこれも大事な骨の役割です。しかしここ最近では骨分野の研究が飛躍的に進んできており、「骨免疫」という言葉が出てきているように、体全身に影響を及ぼす一つの臓器である、という考え方がなされるようになってきました。骨が臓器の一つなんて不思議な感じがしますね。カルシウムやリンなどの電解質調整作用、骨の強さの調整作用、血を作り出す造血作用、が骨の三つ大事な機能とされています。そのため、副甲状腺や腎臓などとも大切な連携を取っています。整形外科は骨の専門家ですので、最近では骨だけを診るのではなく、骨を中心に全身を診る必要が出てきており、大変興味深い分野になっています。整形外科なのになんで採血するんですか？という質問も頂くことがあります。そのような骨の働きから近年は必要になってきているわけです。

骨がもろくなってしまう骨粗鬆症という病気も皆様ご存じだとは思いますが、その治療も最近ではいろいろな種類が出てきています。以前は一つ薬を飲んで骨を強くしましょう、という治療でしたが、最近ではそれだけでは不十分で、非常に綿密な計画に基づいた治療が必要になっていることも研究の結果から分かってきています。その治療も大事な整形外科医の役割です。

また骨粗鬆症のメカニズムと、関節リウマチのメカニズムと、かなりの共有する点があるということも最近言われています。例えば、関節リウマチの一部の治療薬を使うと、骨粗鬆症が改善する、といった報告などもあり、大変面白い分野になっています。そのため関節リウマチも整形外科医が診察することも多々あります。

整形外科医は骨を削ったり、つないだり、野蛮なことばかりやってるんだなあ、と思っていたそのアナタ！それだけではないということがご理解頂けましたでしょうか。

当院整形外科は、今後も広く整形外科全分野を網羅しながら、各専門分野の専門医にもご協力いただきながら、先進的な加療を行っていく所存です。

何卒皆様の継続したご理解とご協力をお願い申し上げます。



看護管理部 看護部長  
喜屋武 隆

## 看護管理部の役割

1月もあっという間に過ぎ、インフルエンザも全県で警報が発令されています。私自身も流行に乗ってインフルエンザに罹患し少々辛い思いをしました。

さて看護管理部ですが、看護部長、看護部長代理、副部長、看護部連携担当、看護部教育担当・・・等が在籍しております。現職の看護師管理はもちろんですが、看護師やナースアシスタントの人材育成にも力を入れています。

当院での取り組みを幾つか紹介したいと思います。

当院では5年程前より、従来の方針を変え派遣・応援看護師を受け入れてスタッフの補充をしています。（昔はあまりイメージが良くなかったのですが）以前と違い、優秀で人柄も素晴らしい方々が、北は北海道から南はお隣の奄美大島まで全国から来ていただいています。一時期は最大20名、ほぼ20%が応援看護師という状態で、その入れ替わりへの対応に苦労した時期もありましたが、現在は7名（5.6%）と減ってきています。常勤充足状況の変化や、応援で来られた方々が（しっかりコンタクトを取る様にしています）当院の働きやすさと沖縄の環境を気に入り、沖縄に定住し常勤へ変更した方も結構いらっしゃるのがその理由かと思っています。併せて、国も進めている働き方改革や職員のワークライフバランスを考えながらスタッフの充実を計っていきたいと考えています。

もう一つ、昨年8月に沖縄県外国人介護事業共同組合が立ち上がり、10月にはフィリピンから5名の方が留学という形で来沖され、当院でも2名の方を採用することが出来ました。

わが国では介護福祉士養成施設では入学者が減少し平成28年には定員充足率は44.2%となっているそうです。県内の養成校でも定員割れしていると聞きます。対策として資格取得後に学費の還付制度等を設けていますが、なかなか若年代の参入は厳しい状況です。そこで国は国内人材の確保対策が基本としつつ、外国人介護人材の受け入れも進めています。①EPA（経済連携協定）、②技能実習制度に加えて、③資格を取得した留学生への在留資格付与を設け、「入管法」を一部改正し平成29年9月に施行されました。それを下地幹郎議員と與那嶺理事長主導の下、全国でも初めての試みの様ですが沖縄県ではいち早く具体的な対応（外国人介護事業共同組合）に動き出しています。当院は、今年4月にも更に2名の受け入れを予定しております。受け入れた方達は、国からの学費支援を受け、日本語を1～2年間学び、2年間介護福祉士専門学校で学び、介護福祉士の資格取得を目指していき、その後留学から就業での在留資格が与えられます。

昨年受け入れて仲間になった2名はとても素直な良い方達で、当院で住宅・日本語学校通学・就業等の支援をし、現在は通学しながら午後の5時間仕事をしています。受け入れから3ヵ月を過ぎ、看護助手の業務を行えるようになっていきます。

これからもできる限りの支援・応援をしていくつもりで成長が楽しみです。

☆写真は、昨年受け入れた2人が勤務する「ゆい病棟」です。看護師や他のヘルパーさん達と毎日楽しく勤務しています。



大好評  
放送中

て〜げ〜  
ドクターK

FMLキオ (80.6MHz)  
毎月 第1木曜日  
17:00~18:00 ON AIR



1月3日OAでは、新春らしく希望に満ち溢れたトークが繰り広げられました。同仁病院初代内科研修医の前原先生は、現在当院広報部長として頑張ってくれていること、合同会社ゲネプロCEO齋藤学先生は僻地医療、オーストラリアやバヌアツ共和国の充実した医療システムについて熱く語ってくれました。トータルアドバイザーの安部氏からは同仁病院の今後の課題や、全国の妖怪及び特撮ヒーロー等について非常に造詣の深いお話がありました。また番組中には衝撃的な隠れた名曲も流れ、新年一発目に相応しい回となりました。

## 車いすを寄贈して頂きました

TOPICS

1月10日、福祉・介護用品のレンタルや販売をされている有限会社シルバー館様（宜野湾市）より、当院の創立100周年を記念して車いすを寄贈して頂きました。院内ではリハビリテーションの患者さんに利用して頂き、今春開設する在宅介護複合施設『やえせAG』ではデイサービスの利用者さんへ提供させていただきます。この度のご寄贈、心より御礼申し上げます。

新年早々、車いすの寄贈を受け、感謝の意を表した後に出席者で笑顔の記念撮影。

<写真左>同仁病院 総務部長兼在宅介護部部长 田場朝和  
<写真中央>有限会社シルバー館 担当 仲村 様  
<写真右>同仁病院 リハビリテーション科科长 立津 統



## 第195回 同仁病院ゴルフコンペ 結果報告

REPORT

日時：平成31年1月16日 7:30 スタート  
場所：沖縄ロイヤルゴルフクラブ 南山→中山



長濱伸幸（ゲスト）  
ゴルフ歴30年 愛用クラブ：本間ゴルフ

2位 稲福邦男（情報技術室）  
ゴルフ歴15年 愛用クラブ：ドライバー プロギアRS  
アイアン スリクソンZ725

3位：立津 統（リハビリテーション科科长）  
ゴルフ歴8年 愛用クラブ：無印ゴルフ



<ドラコン>

中山No.5 山内英樹  
南山No.5 豊島 亮

<ニアピン>

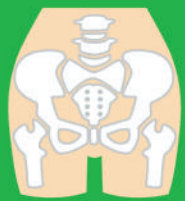
中山No.3 豊島 亮  
中山No.8 長嶺隆行  
南山No.4 山内英樹  
南山No.6 長濱伸幸



2位に入賞した情報技術室の稲福邦男氏



前回2位の意地を見せた立津統科長



# 股関節・ひざ関節の痛みと 最新の治療方法



当日参加歓迎！受講者募集中！

どなたでもご参加いただけます。

医療現場の最先端で活躍する医師たちが最新の治療方法を分かりやすく解説します！

## 講師



医療法人八重瀬会 同仁病院  
院長代理・整形外科部長

やまうち ゆうき  
**山内 裕樹**先生



医療法人八重瀬会 同仁病院  
整形外科医長

ひが せいしろう  
**比嘉清志郎**先生



湘南鎌倉総合病院  
人工膝関節センター長

はら けんじ  
**原 憲司**先生

## プログラム

13:00 開会挨拶

13:05～13:50 **講演 1**

「切らないで治す股関節痛、  
切っても筋肉を切らずに治す  
人工股関節術」

医療法人八重瀬会 同仁病院 山内裕樹先生

13:50～14:00 休憩

14:00～14:45 **講演 2**

「わずか1cm!?  
ここまで治せる関節鏡手術」

医療法人八重瀬会 同仁病院 比嘉清志郎先生

14:45～14:55 休憩

14:55～15:40 **講演 3**

「切らないで治すひざ関節痛、  
切っても筋肉を切らずに治す  
人工ひざ関節術」

湘南鎌倉総合病院 原 憲司先生

15:40～16:00 **質問タイム**

## 日時・会場など

日 時：平成31年 **2月10日（日）**  
12:30開場 / 13:00開演

会 場：**浦添市てだこホール 市民交流室**  
(〒901-2103 浦添市仲間1-9-3)

受講料  
無料

お問合せ

〒901-2133 浦添市城間1-37-12

医療法人八重瀬会 同仁病院 地域連携部

TEL 098-870-5375 / MAIL [admin@yaese.or.jp](mailto:admin@yaese.or.jp)

共催：医療法人八重瀬会 同仁病院 / メダクタジャパン株式会社

後援：浦添市 / 浦添市医師会

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院

企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12  
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



## ■編集後記

平成最後の年。2019年1月号の広報同仁は院長年頭挨拶から始まり、身が引き締まる思いです。その他には、忘年会の模様や医局便りも必見で、仕事も遊びも一生懸命な同仁スタッフをご紹介します。2月10日市民公開講座も予定していますので皆様のご参加をお待ちしております。今年も、皆様に愛読される広報誌を目指します！  
[豊]

八重瀬会 同仁病院  
facebookページ

